

平成筑豊鉄道株式会社の本社がある「金田駅」の検修庫に設置された真っ白な電車のキャンパスに、思い思いの彩りを重ねていくプロジェクト2日目の参加者たち。



夢と希望を子どもたちの1筆1筆に込めて

中止余儀なくされたアートプロジェクト

世界中を飛び回り、地域の人々を巻き込みながら各地に壁画を生み出し続けている画家・ミヤザキケンスケさん。そんな世界的アーティストと

福智町の子どもたちが実働する鉄道車両に絵を描く産学連携のアート企画「スーパーハッピートレインプロジェクト」の参加募集をした

のは昨年2月のことでした。しかし、JAL・平筑・福智町の3者連携企画は、新型コロナウイルスの蔓延で状況が一変。プロジェクトの中止はもちろん、私たちの「日常」をはじめ、主役である子どもたちの学校生活をも大きく変えました。

コロナ禍に思い出を夢の企画ついに実現

特に影響を受けた小学6

年生たちは、感染症対策として学校行事が相次ぎ中止・簡素化された1年を過ごし学び舎を卒業していききました。「子どもたちに最高の思い出を作ってあげたい」と昨年実現できなかった「スーパーハッピートレインプロジェクト」を再企画。感染症対策を徹底した取り組みにより、1年の時を越え、3月20日から2日間、念願のプロジェクトがついに実現されました。



特集

スーパー

SUPER HAPPY TRAIN PROJECT

世界で活躍する画家・ミヤザキケンスケさんと福智町の小学生とが一筆一筆を積み重ねて「最高に幸せな列車」を描き創る夢の一大プロジェクトが1年の時を越えてついに実現。今月の特集では、その奇跡の轍を追います――



2021年
3月20日

「Super Happy Train Project」念願の実施へ

緊急事態宣言が解除される好機を待ちながら1月から1年越しの企画が再始動。3月中旬には、夢のキャンパスとなる車両の下塗りも完了。

「スーパーハッピー」列車のメンテナンスも務める株・九州鐵装が準備作業を担当。

2021年
2月15・16日

地元小学校の6年生と福岡空港の壁画を制作

福岡市立南小学校の6年生とミヤザキさんは、福岡空港国内線の壁に巨大な壁画を制作。福岡県の観光名所が描かれる中には「Super Happy Train」も描かれていきます。



2020年
4月下旬

「OVER THE WALL」で福智町の塗り絵を公開

ミヤザキさんは「子どもたちのうち時間を少しでも明らしたい」と自身の公式HPで福智町が題材の塗り絵を公開。ZOOMを活用した合同塗り絵会も開かれました。

2020年
3月中旬

新型コロナウイルスの流行で緊急事態宣言が発出され中止

2月下旬から参加者募集を始め、25人の児童たちが応募。新型コロナウイルスの緊急事態宣言発出により、学校も休校となったプロジェクトの中止が決定。



↑ミヤザキさんが、2月10日に福智町を訪れ、細かく車両を確認し、実車のイメージを固めていました。

2020年
1月下旬

「Super Happy Train Project」夢の企画が始動

子どもたちの郷土愛醸成とアートの力による町の魅力発信を目的にJALと平筑・福智町で企画。

